

## カブ通信

～東日本大震災募金を寄贈  
& 40周年記念団ラリー & 春キャンプ～

No : 8 平成23年 5月 5日発行  
川崎第46団カブスカウト隊  
発行責任者：久保井隊長

### 東日本大震災募金を日赤に寄贈

～有効活用されます～

4月9日(土) 風呂田組長と清水組長は日本赤十字社神奈川支部を訪問し、東日本大震災募金活動で集まった義援金(475,343円)を直接手渡しました。ちょうど、義援金を預かる窓口担当の企画振興部長さんがいらっしゃり、わざわざ日赤の制服に着替えてくださり、受け取って頂きました。



当初は従来からの振込方法を考えていましたが、カブスカウトとして被災者のためにできることを考え、募金を行うことを決めたことから、届けることの意義も体験させたく、今回の訪問となりました。初回はカブ隊を代表して組長に行ってもらいました。6月5日にも2回目の募金活動を予定していますので、次回は別のスカウトあるいは、支部に設置されている情報プラザの見学を兼ねて隊でまとまって行くかもしれません。

銀行で両替をしたとはいえ、多額の紙幣、現金はなかなか見られませんので、お金の重み、それ以上に、募金をして下さった多くの方の思い・気持ちが凝縮されていることを理解してくれたことで、実施して良かったと思います。

寄贈を終えた後にスカウトに尋ねたところ、清水組長は「これからも募金をしていきたい」と述べ、風呂田組長は「直接手渡し、被災地に届けてもらえると言われて実感が湧いた」とありました。困っている人がいる限り、互いに助け合うカブ隊のさだめを守っていく心が体験を通じて学べた機会となりました。

また、BS隊の甲斐スカウトが参加し、「日赤の職員の仕事ぶりの大変さを知った」と話していました(北村副長)。

### 組長と次長が交代

～後期のスタート～

3月6日のBS隊との合同集会終了後、後期の組長と次長が隊長より任命されました。1組は風呂田組長が引き続き務め、2組は伊比組長から清水組長へバトンタッチされました。

また、安全係は、江口・管が務めます。

カブの組長は、BS隊の班長のような責任の重い仕事と異なり、組の仲間に対する整列指示や出欠、服装点検の指示をします。組長として組をまとめていく過程の中で、リーダーシップを経験しながら、自覚を持つように導くのが指導者としての務めです。次長は組長を助ける役割であり、組長や次長ならではの特権を与え、一層のやる気を引出していきたいと思います。

また、DCについては、4月6日から、BS隊より内田スカウト(1組担当)と神岡スカウト(2組担当)が派遣され新たに任命されました。ついこないだまでカブスカウトであった2人が、お兄さん、お姉さんとしてカブスカウトの手本となり、色々指導してくれます。彼らは、BS隊の班長や次長を担うGB候補として、DCの活動がとても重要となります(北村副長)。

GB (Green Bar): グリーンは緑色、バーは横線で緑色の横線の意味。BS隊の班長章には2本、次長章には1本の緑の横線がつけられる。上級班長章には2本半の横線と金色のスカウト章がつけられている。

### 40周年記念団ラリー

～小沢城址から多摩自然遊歩道を歩く～

4月17日(日)、ミッションをクリアしながらの40周年記念団ラリーは縦割り班に分かれてハイキングをしました。

9時に登戸駅に集合し、南武線で稲田堤駅へ。駅から菅小谷緑地へ移動しました。幸いなことに天候に恵まれ、あたたかい陽射しの中でスカウト達は「今日は暑いな～、ちょっと歩いただけでも暑い～」と言いながらもニコニコしていま



した。今日はどんな活動をするのか、ワクワクしていたのでしよう。

菅小谷緑地へ到着。開会のセレモニーを終え、全スカウト、さらに保護者の皆様も入り混じる3つの縦割り班が編成されました。今年の団行事はこの縦割り班で活動していきます。



いよいよハイキングの始まりかと思いきや、いきなりのミッション！暗号が解けた班からスタートです。早速輪になって相談を始めるスカウト達。「え～難しいよ～」「これってこういうことかなあ」「やった！できた！！」みんなで知恵を出し合い難問を解いていきます。まさに「カブスカウトはたがいにたすけあいます」。

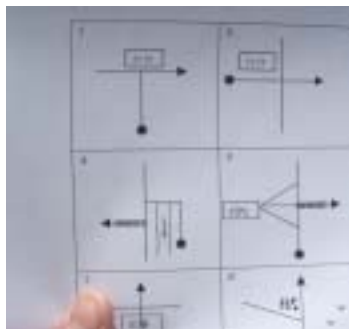


暗号を解いて、ハイキングが始まりました。山道を、汗をかいて

歩いていくと広場にリーダー達の姿が！2つ目のミッションは「キムスゲーム」です。広場に置いてある色々なアイテムを制限時間内で観察し、どんなアイテムがあったのか覚えて記憶を頼りに解答用紙に記入して提出しました。

スタートと同時にダッシュで散っていくスカウト達。アイテムを見つけると口々に叫んでいました。解答タイムでも口々にアイテムを言っていくので書く人が追いつきません（いつもの風景です）。

3つ目のミッションはロープ結びと計測です。日頃からロープ結びに取り組んでいるカブ隊のみんなにとっては簡単なミッションでした。計測は自分の体を頼りに



10数mの距離を測定しました。リーダーには歩幅で測定する方法を教わり、何往復もして測定をしました。測るたびに距離が違う、なぜ

だ...

次はフルーツパークで昼食です。ちょうど桜が満開！お花見気分です。みんなと食べるカブ弁は最高だね！

フルーツパークから読売ランドの駅を抜けて第四公園に到着。もうみんなクタクタです...と思いきや走り回って遊んでいるではないですか。カブスカウトにはハイキング用とは別にもう一つエンジンがついているようです。

全班が到着して閉会セレモニーです。優秀班が発表されると小躍りして喜ぶスカウト達。よっぼどうれしかったのでしよう。表彰を受けているときの誇らしげな表情が印象的でした。セレモニー終了後、40周年の記念に「しだれ桜」の木を植樹しました。参加者全員で少しずつ土を被せて無事植えることができました。すぐ近くには20周年の時に

植えた桜や30周年の時の「金木犀」があり、大きく育っていました。20年後あの桜のように成長したスカウト達と会うのが楽しみです（森副長）。



## 春キャンプ「防災」

～被災から復活した  
黒川青少年野外活動センター～

4月23日から24日まで、恒例の春キャンプを実施した。黒川の野外活動センターも東日本大震災で、天井が崩落し、壁に亀裂が生じるなど、宿泊室を中心に被害を受けた。直前まで、予約した2階の宿泊室が使用できないことから、集会室で座布団と毛布2枚で寝る体験をさせようではないかと、リーダー間でぎりぎりまで打合せを行いました。運良く、ちょうど23日の午前中に復旧工事の最終確認が終了し、午後から利用できるようになりました。以下、担当の渡辺副長の報告です。

「ボーイスカウトをやっていたら、震災の時にどんな役に立つのだろう？」

そんな言葉をRSリーダーに投げかけることから今回の企画は始まりました。

川崎第46団の創立40周年の年であり、3月11日



に発生した東日本大震災直後の春キャンプ。やはりテーマはこの2つ、自分達に何が出来るのか、有事の際は具体的にどんな行動を取ればいいのか、防災・救急について考えたいと思いました。

1日目。23日(土) 天候：雨。

開会式を行い、まずは組の目標を決める組会議です。目標達成、がんばろう！

初日はチェックポイントを回る形式のハイキングの予定でしたが、雨のため延期し、室内でシートポン(個人敷物)作りやゲーム、講座を行いました。

防災と救急をテーマにしたので、何かあった時のために(夜中に何かあっても大丈夫なように・・・)施設での避難経路の確認もして。ちょっと背伸びしてボーイ隊でやるような、急造担架の作り方、人の運び方、三角巾の使い方を学びました。

「もやい綱引き」ゲームはかなりの盛り上がり。もやい



を結んでロープを引っ張りあいます。いやぁ、やはりくまの3人は頼もしい、最後はくま対決になりました。

さてさて、夕飯です。

今日はお母さん達が作ってくださったハヤシライス。ここで一工夫。いつもはテーブルを並べて食べるのですが、被災者の方々の気持ちを少しでも体験するために、集会室の床に新聞紙を広げて食事を取り



ました。ハヤシを食べ終わった後は、半切れのパンで食器に付いたルーを綺麗にします。

食後の食器洗いは500MLのペットボトルの水だけでお片づけ。想像以上にみんな悪戦苦闘していました。

夕食の後はキャンドルファイア。最近恒例、一人一人将来の夢を話しました。医者になりたい、人の役に経つ人になりたいという素敵な夢や、営業マンになりたいという現実的な夢まで、とても楽しい幸せな気持ちになりました。

1日目はこれで終了。シャワーの代わりに500MLペットボトルの水で身体を拭き、就寝です。この時も寝袋などは無し。施設にあった毛布2枚で就寝です。

おやすみなさい...寒い(笑)

2日目...の前に。

「非常呼集〜!」皆が寝静まった12時過ぎ、RSリーダーの声が宿舎に響きました。どうやら何かあったようです。・・・地震?いやいや、訓練でした。昼間にやった非難経路を確認して、本当に緊急の時は来て落ち着いて行動出来るように。こういう時にこそ、やれる事です。

2日目。24日(日) 天候：晴れ。

本日は朝から晴天のため、1日目に出来なかったハイキングが出来そうです(やっぱ、ボーイスカウトといえ、ハイキングとキャンプですね)。



この日のプログラムはオニギリ作りとろ過水作り。そして、ハイキングです。オニギリ作りでは手が汚れていても大丈夫なようにビニール袋の中に入れてにぎります。結構くっついちゃうけど楽しい...星型に作る子もいたりして。皆、被災地



や家庭でもおにぎり作りのお手伝い出来るようになりました。

ろ過水は色々な石を使って汚い水を綺麗にします。結構綺麗になりました。

お次はスケジュール変更して実施したハイキングです。出発時に渡された地図と、分かれ道の写真集を元にしてコースを辿ります。これが予想以上に難しい。分かれ道の写真はあっても、その分かれ道がどこだろうか...迷いながらのハイキングとなりました。これもいい思い出(笑)。道すがら綺麗な場所で「自然と自分」という



テーマで記念写真も撮りました。

帰ってきて、休憩後、RSが作成した40周年スライドを見ました。ベーデンパウエルが僕らを40年前にタイムスリップさせて当時の様子や46団の先輩達の様子を見せてくれました。...パウエルさん面白いのう。

最後に閉会式です。

今回の優秀組は1組。各ポイントプラス、ハイキング中にごみ拾いをして歩いていたのを評価しての優秀組です。優秀スカウトは1組組長風呂田君。キャンプの最初に隊長が「今回は時間を意識して」と言った事を意識し、組長として組をしっかりとめていたのを評価しての優秀スカウトでした。最後の最後に仲良しの輪をして解散しました。

みんな、盛りだくさんのキャンプでしたが、たくさん学び、たくさん楽しめたかと思います。

今回はCS担当のRS3人がメインに企画を考えてくれ、充実した内容になりました。さらにはBS担当のRSもお手伝いしてくれました。また、直前のお願いにもかかわらず120%以上のすばらしい対応いただきましたお母様方、リーダー各位、3月11日の震災が少し落ち着いた3月末から駆け足での企画となったためにご迷惑ご心配をかけ、ご協力いただきました。ありがとうございました。

スカウトたちは、ここでは書ききれないほどのたくさんの経験をキャンプでして来ています。(本当に、この紙面ではまったく足りません...)。是非、ご家庭で「どうだった?」「目標達成できた?」「楽しかった?」と会話してあげてください。また、たくさんの活動写真がホームページに載っています。こちらも見ただければ幸いです。

最後に、カブスカウトのみんなへ。

活動中にも何度か言っていますが、「自分達で出来る事を今やりましょう。」「今年は40周年の記念行事が盛りだくさん。



団キャンプもあります。カブ隊がビシッと決めているところを是非見てもらいましょう!」(渡辺副長)

春キャンプを通じて、スカウト一人ひとりが少しずつ成長している姿を見ることができました。頼もしい「月の輪」、ちょっと落ち着きない「やと」、元気いっぱい疲れ知らずの「ジロップ」。いよいよ、記念式典の日には、『足がらやま物語』を劇で演じます。金太郎のように、困った人が目の前にいたら、進んで助けられるスカウトになって欲しいと願っています。